

## 第2回 天王寺動物園 101 計画アクションプラン評価会議 会議要旨

■開催日時：令和2年2月17日（月）15：00～17：30

■開催場所：天王寺動物園 レクチャールーム

■出席者：

（委員）落合委員、黒岩委員、坂本委員、佐々木委員、高瀬委員、西田委員

（大阪市）牧天王寺動物園長、横山管理課長、今西飼育担当課長、休井動物園改革担当課長、ほか4名

### 【議題】

- ・アクションプランの取組結果にかかる点検及び評価について（テーマ⑦～⑫）  
資料1をもとに事務局より説明の上、委員から意見等の聴取を行った

### 【委員からの意見】

意見等の概要は以下のとおり

#### テーマ⑦（動物福祉）

- ・海外から動物を導入する際には、受け入れ側の動物園の動物福祉の取り組みが評価される。
- ・動物福祉の取り組みを自己満足で終わらせないためには、取り組み評価をどうしていくのか検討することが大切である。

#### テーマ⑧（野生生物の保全）

- ・海外の動物園では、実際に野生動物が住んでいるエリアに拠点を持ち、そこに研究者が行って、お金を送って支援をしているが、公立の動物園では税金を使って同様のことは行えない。

#### テーマ⑨（研究活動）

- ・職員が日々の業務を行いつつ研究を行う場合には、勤務時間や残業手当の問題から、研究を業務として位置づけするのは難しい。
- ・共同研究の申し出に対しては、研究者の下働きにならないようギブアンドテイクの関係で受け入れるべきであり、研究結果も職員にフィードバックさせる必要がある。

#### テーマ⑩（インバウンド対策）

- ・インバウンドの方は、私たちが面白いと思うところと全然違うところを面白いと感じているので、それを調べるとマーケティング戦略を立てていくときの改善点がよくわかる。

テーマ⑪（ボランティア・寄附営業）

- ・ボランティアを募集する前に、園側に受け入れの体制やマネジメント方針を持っておく必要がある。どういう形のボランティア組織とするのかといった組織像を持っていないとうまくいかない。
- ・単に寄付をお願いするだけでは、ある程度の金額はいくかかもしれないが、もっとターゲットを絞って寄付戦略を考えて実施するほうがもっと集まる。特に企業は、社会貢献のために動物園をサポートすることもあるので、寄付の目的をはっきりさせる方が集まりやすい。
- ・寄付営業には、アピールの仕方や宣伝をセットにした戦略が必要である。

テーマ⑫（経営改善・改革）

- ・天王寺公園には、動物園、美術館、慶沢園、てんしば等の施設があり、公園の魅力を活用するという全体的な戦略の中で、動物園の役割を考える必要がある。